



題字
宮城県知事 山本壯一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号

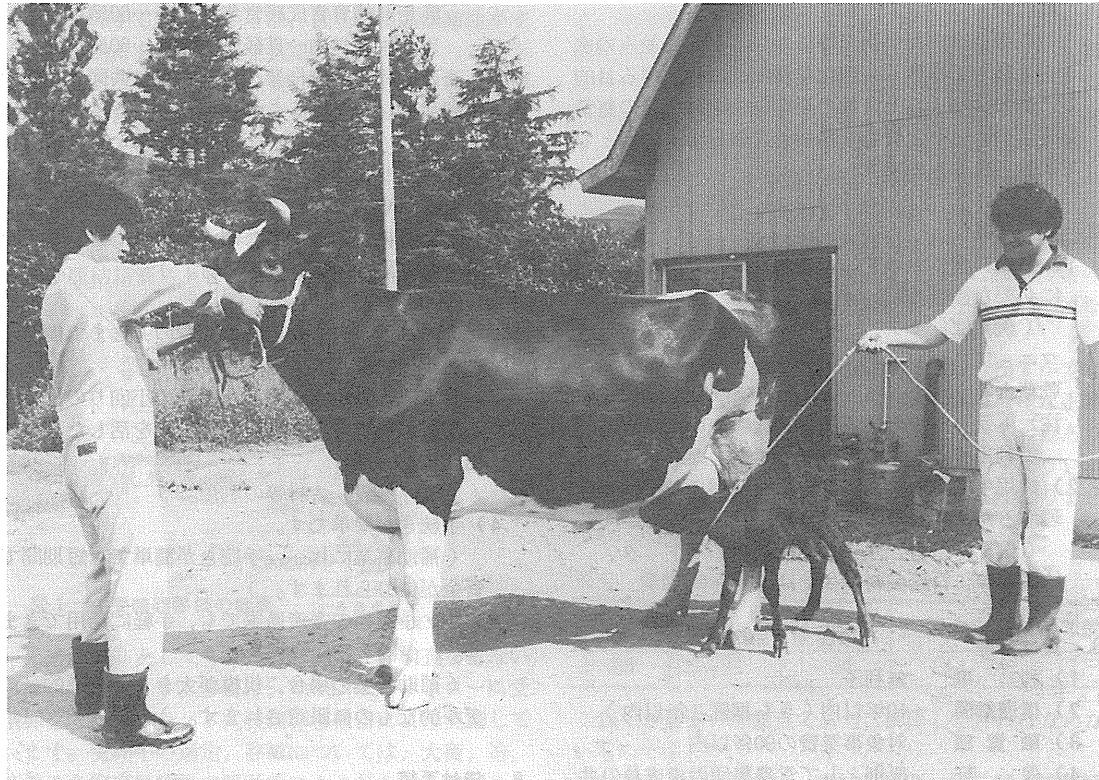
法人 宮城県畜産会

電話 (62-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部60円

印刷所 KK東北プリント



受精卵移植第一号 59.6.27 蔵王町

もくじ

畜産振興資金供給事業のあらまし……2

牛受精卵移植について……3

肉豚生産性向上対策事業について……4

宮城県家畜人工受精師協会のあらまし!……5

乳肉複合経営等推進事業について……6

林地利用による肉用繁殖牛放牧の実証……7

病性鑑定成績から……8

宮城県畜産会本年度事業の概要……9

隨想……9

畜産物市況の展望……10

畜産振興資金供給事業 のあらまし

宮城県畜産課

昭和59年度から新たに畜産総合対策事業の一環として実施することになります。その概要について御説明いたします。

1. 趣旨

この事業は肉用牛生産等について、EC並みの水準を目指して振興、合理化を積極的に推進する目的で、畜舎、サイロその他の畜産関係機械施設の整備を行うのに必要な資金を無利子で融資する制度として創設されるものです。

2. 貸付対象

1) 酪農経営において、自給飼料づくりをするために必要な機械施設。

(例えは、モア、ハイベーラー、ハーベスター、マニュアスプレッダ、サイロ、堆肥舎、格納庫、乾草舎等)

注) トラクター等の汎用作業機については、共同で利用する場合に限り貸付対象となります。

2) 肉用牛経営において、自給資料づくりや飼養管理するために必要な機械施設。

(例えは畜舎、サイロ、堆肥舎、バドック、給餌機等、自給飼料関係では1)と同じ)

3. 貸付条件

- 1) 利率 無利子
- 2) 償還期間 10年以内(うち据置3年以内)
- 3) 融資額 対象事業費の90%以内
- 4) 保証 原則として営農集団の構成員の共同保証

4. 借受者

営農集団、又は営農集団の構成員たる個人

牧場用柵には
強くて美しくスマートな
東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株仙台営業所 仙台市一番町二丁目7-5 TEL 07053
販売元 塚本商事機械株東北出張所 仙台市花京院二丁目1 TEL 027771
代理店 本山振興株式会社 仙台市昭和町6番10号 TEL 046221

※営農集団の要件

- ① 原則として、3人以上の畜産経営を営む者が構成員となっていること。
- ② 貸付対象の1)にあっては、飼料供給面積の規模が、10ha以上であること。
- ③ 貸付対象の2)にあっては、飼養頭数規模が次のとおりとする。

肉用牛繁殖経営集団……………30頭以上

肉用牛肥育経営集団……………90頭以上

乳用種哺育育成経営集団……………60頭以上

肉用牛経営内一貫経営集団……………60頭以上

- ④ 畜産に係る共同作業、共同利用、共同出荷等の共同活動をしていること。

5. 借入のメリット

- 1) 個人でも借りられます。

(営農集団の構成員(個人)でも畜舎、サイロ、機械を個別に設置利用出来る。)

- 2) 条件が有利です。

(無利子の資金を対象事業費の90%まで借りることが出来る。)

- 3) 農家の経営実態に即した簡素で小回りのきく、しかも、農家の自主性と創意工夫を活した事業が出来る。

(既存施設、古材等の利用。)

- 4) 手手続きが簡単です。

(補助事業に比べ、手続きが簡単で、短期間で資金が借りられます。)

- 5) 中・小規模の畜産農家でも、手軽に活用できます。

(補助事業の場合、規模が大きく、先進的、モデル的なものに限定されます。)

6. 貸付手続

借受の申込みは、市町村を経て県へ提出されます。貸付実行は11月以降の予定です。

(畜政係)

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロポンス

マイティシリーズ
スライポンプ
ショットポンプ
ノンクロポンプ
ヒドロスクリン



ヒドロポンプ 発売元

株式会社 **東北加藤**

〒983 宮城県泉市南光台二丁目22番15号
TEL 0222-74-0781 (代表)



牛受精卵移植について

宮城県畜産試験場

近年、牛受精卵移植は国、道府県、民間ベースで大変さかんに行なわれていますが、宮城県でも58年度より新規事業として取り組んでいます。その現況を紹介します。

牛受精卵移植を達成するには、いくつかの段階を確実に実施する必要があります。その概要を図1に示します。供卵牛（優良雌牛）は、黒毛和種で繁殖性がすぐれ血統的にも良いものを選定します。これらの牛を少なくとも、2周期正常発情の回帰を確認後、過剰排卵処理（受精卵を多く得る）を行ないます。受卵牛は、この供卵牛と発情が一致した牛だけ使用するので、発情を同じにするか（性周期の同期化）、同じ日に自然発情がきた牛を使用します。供卵牛には人工授精を行ないますが、発情日の午後、夕方、翌朝の3回、4～5本の凍結精液ストローを使用し行ないます。

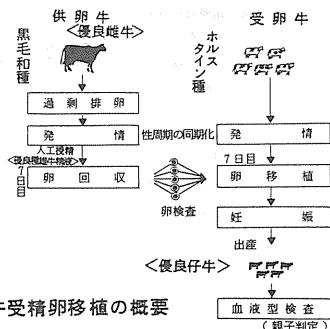


図1 牛受精卵移植の概要

発情日を0として7日目に卵回収、卵検査を行ない、移植を行ないます。移植は、0.25mlのストローに受精卵を入れ、フランス式受精卵移植器により実施しています。受卵牛の選定、移植については、大衡、迫、築館の各家畜診療所の獣医師により行なわれており、各家畜診療所管内の農家のホルスタイン種を対象にして、この事業の主旨を十分に理解したうえで、協力をいただいております。牛受精卵移植は、これらの一連の作業が円滑にかつ確実に行なわなければ受胎は

望めない総合技術といえます。

この事業の初年度（58年度）は、実施上の種々の問題があり、これらを1つ1つ解決しながら5.7%の受胎率でしたが、6月27日に県内初めての産子を得ることができました。

現在問題となっているものとしては、大きく3つに分けられます。第1に受卵牛の選定です。回収された受精卵は、顕微鏡によって形態的に正常か否かを判定し、発育ステージも分けられますが、受卵牛については、発情状態と直腸検査によってのみ判定されており、理化学的な判定はなされていないのが現況です。これについては、黄体ホルモンの測定等によって解決していきたいと考えています。第2に移植技術についてです。移植方法は、基本的には人工授精と同じですが、発情後7日目の子宮に、子宮内膜に傷をつけず、もちろん出血させずに子宮角まで移植器を挿入することが必要で、しかも、無菌的に行なわなければならないので増々高度な技術となります。この解決には、技術の練磨しななく、移植技術者の養成を行なわなければなりません。

第3に、いかに多くの移植可能卵を取り出すかです。

58年度の成績は表1のとおりです。移植可能な正常卵数は、他の報告や、他県の状況とくらべて大差ありませんが、より多くの移植可能卵を取り出すよう、ホルモン剤、投与方法の検討を行なわなければならない。

表1. 卵回収状況

過剰排卵 処理頭数	卵回収 実施頭数	卵回収 成功頭数	回収卵数	正常卵数
28	27	24	144	77

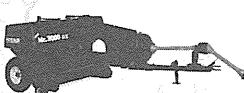
以上が現在の問題点であり、解決しなければならないものです。

今後の方針としては、凍結受精卵、卵分割、核移植とさらに高度な技術に進んでいくと思われますので、受精卵移植の基本的な今後の技術を高め、より高い受胎率となるように努力しなければならないと考えています。

（研究第1部 沼辺 孝）

より豊かな明日の農業のために

STAR



頼もしい働き者
牧草梱包稻わら梱包に!!

Mr1000 Mr2000DX
Mr3000DX、Mr4000DX

スター農機株式会社 仙台営業所

983 仙台市福田町2丁目4-20佐正ビル内
0222-58-7301

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稻葉字大江向179-1
TEL 0292(3)8888(代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

肉豚生産性向上対策 事業について

宮城県養豚改良協会

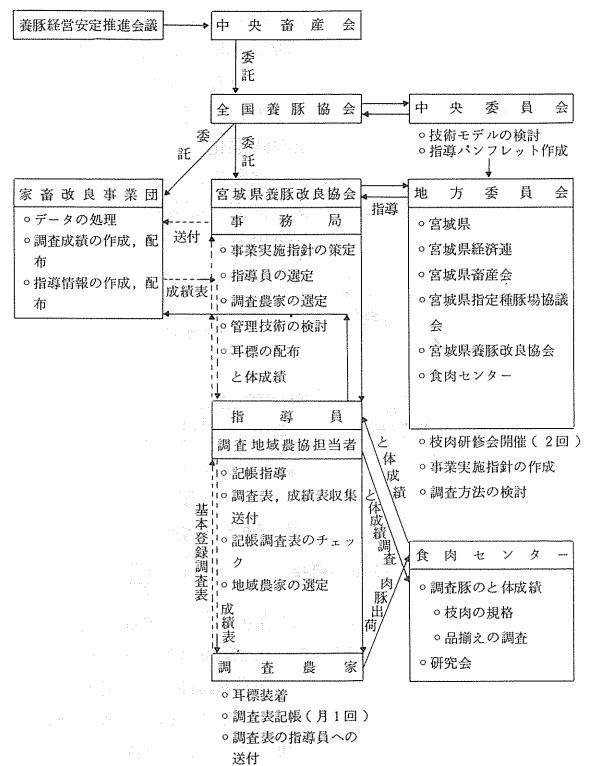
最近の我国の食肉消費動向を見ますと、昭和57年の食肉消費量の合計は381.8万トンで、その内豚肉162.8万トンその割合は、43%と鶏肉の34%を大きく引き離し、トップの位置を占めております。要するに相変わらず日本人の食べる肉の中心が豚でありそれだけ我国の食生活において、大きなウエイトを占めております。豚肉の消費量162.8万トンの内生産量は144.3万トンであり、その他に輸入量は27.7万トンで供給量は172万トンになっております。しかし一方消費の動向を見ますと、かつての高度成長期のような年率10%の大きな伸びは期待できず、ここ数年わずかな伸びとなっています。これに対応するため、特に肥育部門を中心とする規模の拡大、子豚価格の変動等を回避するための一貫経営への移行などにより、豚肉生産量の増大と、安価な豚肉生産が進められてきました。しかしながら、国民の栄養水準が相当高い水準に到達し、豚肉需要も従来ほどの高い伸びが期待できなくなっています。したがって、消費者に対し、引き続いだ安価な豚肉を供給するためには、更に養豚経営の合理化を促進しつつ、低コストな豚肉生産を進める必要があります。そして豚価の変動に強い養豚経営を育成するとともに、量販店等による大量販売に対応した豚肉生産が望まれていることから、定規格「品揃え」生産をする必要があります。このためには全国の養豚農家の飼養管理技術水準を明確にするとともに、その技術水準の高位平準化を図ることが必要とされます。そこで、経営規模が大きく、肉豚出荷頭数シェアの多い一貫経営の養豚農家を対象として、技術情報の収集、分析及びフィードバック等の反復による技術向上と平準化を、モデル的組織的に実施するとともに、その結果を全国の養豚家に情報として提供することにより、低コスト、定規格生産のための飼養管理技術の向上を図り、ひいては消費者に良質かつ安価な豚肉を供給しようとする事業

で、本事業は昭和57年度より養豚経営安定推進会議が畜産振興事業団より助成を受け、更に全国養豚協会が委託を受け、更に当協会が再委託を受け昭和58年度より実施しております。

事業のしくみ

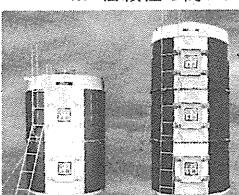
事業のしくみは図1のとおりです。

図1 肉豚生産性向上促進事業の仕組み



事業参加申込みは最寄りの家畜保健衛生所或は宮城県養豚改良協会並びに県経済連にお願いします。

※ 肉用牛の飼養に是非サイレージを
※ 信頼性の高い3テンレス気密サイロ



オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 T E L 94-0691代
仙北出張所 築館町字久伝 T E L 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 T E L 3-3355



株式会社 美濃谷

動物藥品 訓育品共輸代理店
日本企圖 善濃公司

株式会社 美濃會

本店 山形市藏王成沢字町浦491-2

山形市蔵王成沢字町浦451-2
仙台市山田字羽里堂5番216

仙台店 仙台市山田字羽黒室5番216
韓國店 韓國吉大市吉大路通657-1

鶴岡店 鶴岡市大字布自字東通り57~1

いわき店 いわき市常磐湯本栄田 3

卷之三

宮城県家畜人工授精師協会のあらまし!

宮城県家畜人工授精師協会

はじめに

現在に至る家畜の改良は人工受精師によって築かれたといつても過言ではないと思われる。日夜の区別なく献身的努力によって飼育農家一戸一戸巡回し授精は勿論改良と飼養管理また農家の身の内相談まで実に幅広い畜産農家の良きパートナーとして働き続けている。

1. 県協会のあらまし

昭和27年11月1日設立されて以来30年以上経過し設立当時は県庁畜産課内で事務がとられ各支部も統々家畜保健衛生所内に誕生しその会員数は11支部で144名の精銳でスタートし、現在は表1~2の通り県畜連事務所内に設置され10支部で400名を超える大世帯となり北海道協会と全国第一位の会員数を競い合っている現況であるが、上記の通り日夜の激務のため疲労困憊により急死された会員の方も数多くあった。しかしこのような激務にもかかわらず畜産振興のため日夜活動している皆々様には誠に頭の下がる思いでいっぱいである。

表1. 会員数の推移

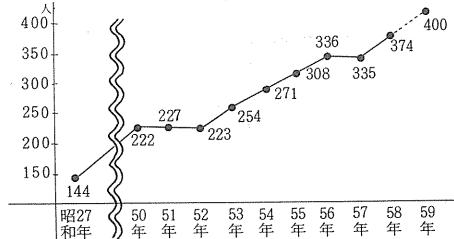


表2 協会及び各支部事務局所在地

本部名	会長兼部長名	事務局所在地	電話番号	58年度末会員数	事務局担当者
本部	遠藤 真治	宮城県畜産連合会	0222-21-6277	374	小室 慎、堀内政昭 佐々木重義
仙南	三浦 三代治	"	02245-2-5253	47	小笠原 一郎
喜多方	太田 修	喜多方市農業試験場	0223-4-3136	25	鎌木 雅子
仙台	熊谷 肇吉	"	0222-21-6278	20	山家 健蔵
黒川	富田 和夫	宮城県農業経済組合 適合会大衡支店診療所	02234-5-2241	16	佐々木 康子
石巻	平田 大器	宮城県農業組合会 石巻支所	0225-4-1357	24	菅原 隆
遠田	今野 博史	遠田支所	02293-4-2217	33	阿部 俊也
大崎	遠藤 真治	古川支所	02292-6-2979	59	高橋 昭伍
栗原	小野寺 昭	栗原支所	02282-2-2668	67	菅原 勝則
登米	高橋 英士	登米支所	0225-2-3131	63	干葉 良子
本吉	芳賀 類雄	本吉酪農農業協同組合	02264-2-3157	20	

2. 事業内容

設立当時は液状精液で昭和44年以降凍結精液の実用化に移行し現在は受精卵移植の試験段階まで進展しており技術の変化に対応する会員の努力は並々ならぬもので、その技術習得のための講習研修会の種類も数多く開催され技術の練磨によってより一層の受胎率向上のため協会の開催する講習と研修を数多く受講させ、農家経営の安定と技術向上及び識見を高めるため本協会は表3の通り59年度も各種事業を計画している。

表3 昭和59年度講習研修会

講習、研修会開催名	期日	開催場所	内容
記念講演会	昭和59年5月22日	宮城県農業共済連大衡診療所	演題 牛の栄養と繁殖について 講師 帯広畜産大学木畠増殖 小野 齐博士
家畜人工授精師家畜改良講習会	昭和59年12月上旬	同上	肉牛関係講習会 テキスト及び映写により実施
家畜人工授精師研修会	昭和59年12月中旬	宮城県畜産試験場	実技を主とする研修会 テキスト及び教材牛等により3日間の実習により実施
講習会	未定	仙南12ヶ所	主として乳牛の改良繁殖についての講習会
家畜人工授精師全国研修大会	昭和60年2月中旬	東京都	優良技術発表会 記念講演会 シンポジウム

また技術の練磨と並行しその体験を発表する全国研修大会にも本協会は積極的に参加しており表4の通り昭和60年度の大会まで発表者が予定されている。

表4 全国優良技術者発表会(本協会発表者)

年度	支部名	発表者名	発表タイトル名
昭和58年度	大崎支部	一栗農業協同組合 阿部 忠彦 氏	岩出山町一栗地方における黒毛和種の受胎率向上をめざして
59年度	遠田支部	大賀農業協同組合 川名 和雄 氏	繁殖牛における受胎率成績の検討について
60年度	仙南支部		

さらに本協会は最近の畜産をとり巻く厳しい世相に打ち勝つため、連帶感を養い農家の手助けと会員の協和を終局の目的としてソフトボール大会を開催しておりますが、今年度は第7回を迎える会員一同明日に向け授精に体力増強にと大いにハッスルしているところであります。

(堀内政昭)

ビフィズ菌は
活きたまま腸までとどきます。
・ビヒダス®
ヨーグルト 500ml
フレッシュ
宮酪乳業株式会社

名取市飯坂丘丁目1番3号
☎ (02238) 4-5181

飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
プロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (95) 4171~4

乳肉複合経営等推進事業について

宮城県生乳販売 農業協同組合連合会

最近における乳用種の国内牛肉生産に占める割合が70%に達している。乳用種は生産費が肉専用種の60~70%と比較的低いことから、わが国の安価な牛肉を供給する基幹部門として位置付けられている。しかしながら乳用雄子牛の哺育育成期間に発生する事故による損耗は供給量の減殺と生産費の増加の主な要因となっている。

乳肉種による牛肉生産の根底となる乳用雄子牛の事故率を引き下げ肥育素牛の供給の拡大と酪農経営の安定に資することがこの事業の趣旨である。

事業のあらまし

- 目的 乳用雄子牛の哺育育成を酪農家と組合が行う共同哺育育成を積極的に推進、酪農経営の安定と優良な肥育素牛の供給の拡大に資するものとする。
- 事業実施主体は生乳販連とする。
- 事業の内容

- ア. 乳肉複合経営推進事業
生乳販連→○○酪農組合→哺育育成奨励金交付
→乳肉複合生産者
- イ. 乳用雄子牛効率利用推進事業
生乳販連→乳用雄子牛効率利用奨励金交付
→共同哺育育成者

4. 事業の実施

ア. 乳肉複合経営推進事業

(1) 哺育育成計画の作成・提出

- 昭和59年4月1日から60年3月31日までに自家産の雄子牛と他の酪農家から導入する雄牛(おおむね10日令まで)……○頭
 - 哺育育成期間 2~6カ月 ……○頭, 6カ月以上……○頭
 - 乳用成雌牛飼養頭数(24カ月令以上)…○頭
- (2) 哺育育成奨励金の額
① 哺育育成期間 6カ月以上1頭当たり7,000円以内

② " 2~6カ月 " 3,000 "

(3) 哺育育成奨励金交付の条件

- 59年度自ら生産する乳用雄子牛、他の酪農家から導入した乳用雄子牛(おおむね10日令)を2~6カ月又は6カ月以上哺育したもの
- 乳用雄子牛哺育育成を新規にはじめた者と規模を拡大した者
- 今年度に乳用雄子牛をおおむね5頭以上生産した者
- 58年度に乳用雄子牛の哺育育成頭数が乳用成雌牛頭数の1.5倍を超えない者
- 生乳販連及び組合の確認したもの

(4) 交付対象頭数の限度

哺育育成奨励金の交付の対象となる頭数は、乳用成雌牛飼養頭数のおおむね1.5倍を限度とする。

イ. 乳用雄子牛効率利用推進事業

(1) 共同哺育育成者

- 農協・農協連・公社・農事組合法人で次の要件を満たす者
- 地域内の酪農経営者から乳用雄子牛を計画的に導入し、その酪農経営者に対して初乳の適正給与等飼養管理技術の指導を行う者。
 - おおむね年間100頭以上導入する者。
 - 哺育育成を継続して実施することが確実と見込まれる者。

(2) 奨励金の交付要件

59年度導入した過半の頭数の対象子牛を生産した者。(おおむね2カ月以上哺育育成したもの)

(3) 奨励金の額

1頭当たり2,000円以内。(60年以降は遞減)

以上、この事業の骨子のみを記しましたので委しくは所属の酪農組合又は生乳販連(0222 24-1784)にお問い合わせ下さい。

(滝沢)

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事
さく井工事 畜舎工事
ポンプ工事 設計・施工
水処理工事
株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話(0222)(93)2461

発育促進・食欲増進・栄養補給に

JY-MILK

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

<畜試便り>

林地利用による肉用繁殖牛放牧の実証

本試験は、造林地の草資源を有効に活用するため昭和56年から58年の3年間に亘って肉用繁殖雌牛を放牧するとともに子牛に対する別飼い(クリープフィーディング)を実施したので、その結果について紹介します。

1. 供試草地と放牧方法

放牧試験に供用した草地は昭和44年度に傾斜4~16°の雑灌木地を造成したオーチャードグラス優占の混播牧草地であるが、雑草の侵入や裸地の拡大が著しいため昭和55年6月に杉、桧を植栽した2.4haのうち1.9haを供試した。放牧地における主な草種の比率はオーチャードグラス30%, ホワイトクローバー15%, スイートバーナルグラス25%, その他30%である。

牧区の構成は表1のとおり、放牧の方法は1牧区2

表1 牧区の構成と面積

牧区名	1牧区	2牧区	3牧区	4牧区	5牧区	6牧区	7牧区	計	施設備	合計
面積(a)	24.5	26.0	21.2	21.2	26.3	23.1	23.1	179.5	8.7	188.2

表2 放牧状況と牧草生産量

項目	月別	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平均
1日当り放牧頭数 (成牛換算)		6.0頭	6.3	6.5	6.7	7.0	7.2	6.6
月間放牧頭数		150頭	188	201	207	210	119	179.2
使用延面積	ha	1.57	1.92	2.46	2.46	2.94	2.39	2.29
ha当たり生草量	kg	11,113	10,733	8,863	9,820	7,577	5,983	9,015

註) 成牛換算は500kgで計算した。

表3 成牛に対する期別体重の推移

(kg)

年次	時体重	前期			中期			後期			全期(168日)	摘要	
		8週	増体量	DG	16週	増体量	DG	24週	増体量	DG	期間増体量		
56年	429.8	454.0	24.2	0.432	440.2	-13.8	-0.246	457.0	16.8	0.300	27.2	0.162	♀5
57	464.4	474.2	9.80	0.175	458.0	-16.2	-0.289	463.8	5.8	0.104	-0.600	-0.004	"
58	454.8	475.8	21.0	0.375	468.2	-7.6	-0.136	494.2	26.0	0.464	39.4	0.235	"
平均	449.7	468.0	18.3	0.327	455.5	-12.5	-0.224	471.7	16.2	0.289	22.0	0.131	

~3日滞牧の輪換放牧で黒毛和種の親子(親5頭, 子5頭計10頭)で全期間昼夜放牧とした。ただし、子牛は放牧と併行して子牛専用不断給餌器(鉄骨製)を設置し、育成用配合飼料を体重(2週間間隔で坪量)の1%を毎日制限して給与するとともに飲水、鉱塩を施設柵内に併設して自由に飲水ならびに舐食させた。

2. 試験結果の概要・要約

1) 放牧状況と牧草生産量

放牧状況は表2のとおりであるが5月の放牧時は草の成育も良く子牛も小さいが、月、日が経過するにしたがって成長し採食量も増加するので草生状況により1牧区当たり2~3日放牧できる面積に区画すること。

2) 成牛に対する期別体重の推移

成牛の期別体重の推移は表3のとおりで、中期の16週目で体重が減少しているのは夏期の暑さによるものと思われる。放牧期間中は濃厚飼料を与えず草だけで、増体重が22kgと殆んど増体は認められなかったが維持飼料としては、ほぼ充足されたものと思われる。

表4 子牛に対する期別体重の推移

年次	時体重	前期			中期			後期			全期(168日)	摘要	
		8週	増体量	DG	16週	増体量	DG	24週	増体量	DG	期間増体量		
56年	109.2	168.8	59.6	1.064	203.0	34.2	0.611	223.4	20.4	0.364	114.2	0.680	♀5
57	117.4	177.2	59.8	1.068	231.0	53.8	0.961	269.9	38.9	0.695	162.5	0.908	♂5
58	117.2	178.4	61.2	1.093	232.8	54.4	0.971	268.2	35.4	0.632	151.0	0.899	♂5
平均	114.6	174.8	60.2	1.075	222.3	47.5	0.848	253.8	31.6	0.564	139.2	0.829	-

(参考) S牧場における放牧中の哺育牛の増体量(DG)は♀(12頭) 0.490kg, ♂(14頭) 0.520kgであった。

表5 放牧による幼令林の被害

月別	樹種	植栽本数	年次別	5~7月			8~9月			10~11月			計	摘要
				5週	傷害本数	傷害率	8週	傷害本数	傷害率	11月	傷害本数	傷害率		
第1 ~ 第6 牧地	杉	3,247		56	211	6.5	382	11.8	64	2.0	657	20.2		
			57	61	1.9	99	3.0	62	1.9	22	6.8			
			58	52	1.6	22	0.7	48	1.4	122	3.8			
			計	324	10.0	503	15.5	174	5.3	1,001	30.8			
第7 牧地	桧	1,049	56	15	1.4	38	3.6	57	5.4	110	10.5			
			57	46	4.4	14	1.3	25	2.4	85	8.1			
			58	15	1.4	15	1.4	16	1.5	46	4.4			
			計	76	7.2	67	6.4	98	9.3	241	23.0			

3) 子牛に対する期別体重の推移

子牛について表4のとおりで、子牛は昼夜放牧で風雨にさらされていたにもかかわらず、ほとんど疾病も

元気な子豚にすくすく育てる

※母乳不足に

ミルクパワー(代用乳)

※子豚の鉄分補給に

テツビダ(飼料添加物)

※子豚の発育に

トップスターS(乳酸菌)

※初生豚の給飼・給薬器

プレフィーダー(新製品)

農協・宮城県経済連・全農

医薬品総合商社
動物用薬品、器具機材
SENJUDO
株式会社 **山田仙寿堂**
取締役社長 山田修造
本社/仙台市木町通1丁目5番19号
電話/0222633151(大代表)
営業所/古川・石巻・氣仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

なく順調に発育し、全期間の平均増体重が139.2kg, DG 0.829 kgと良い発育を示した。これは放牧地の草生の良さと、子牛専用不断給餌器使用での濃厚飼料給与の効果によるものと考えられる。濃厚飼料は体重の1%程度でよい。

4) 放牧による幼令林の被害

混牧林地での幼令林の被害(表5)は植栽してから翌年に放牧した第1年目が杉、桧ともに最も甚大で2~3年経過するにしたがって減少する傾向が認められ、放牧期間中の被害では特に杉は樹木の成長が始まる5月~7月にかけて上昇する傾向を示した。混牧地は1年末満の幼令樹林はできるだけ避け、3年以上経過してから放牧するのが望ましい。

おわりに

肉用牛経営の安定と草資源を有効に活用し、低コスト生産するためにいくらかでも参考になれば幸いです。

(研究第1部肉牛科・佐々木義男)

病性鑑定成績から

昭和58年度の家畜別病性鑑定実施状況(表-1)をみると、件数・頭数において肉用牛を除き前年度を上回っている。本県の畜産も多頭飼育農家が増加の傾向にありそれに対する衛生面での対応の現われであり、今後は“群”単位の衛生対策が重要視されよう。

また、最近の家畜疾病は单一の病原体が原因となるよりも数種の細菌・ウイルス等の混合感染が原因と解される例が多く病性鑑定を一層複雑かつ困難にしていくのが現況である。

家畜別病性鑑定実施状況(表-1)

区分	畜種	乳用牛	肉用牛	豚	鶏	馬	その他	計
件 数		57	86	163	41	18	19	384
率 (%)		14.8	22.4	42.4	10.7	4.7	5.0	100.0
対前年比		111.8	93.5	153.8	273.3	360.0	111.8	134.3
頭 羽 数		1,254	800	7,830	98	173	49	10,204
率 (%)		12.3	7.8	76.7	1.0	1.7	0.5	100.0
対前年比		102.7	75.8	139.7	153.1	151.8	144.1	126.1

次に家畜ごとの成績について特記してみると、乳用牛：炭疽は2年続きの発生。牛白血病は5頭と前年同頭数。導入牛が原因と考えられる牛ヘルペスウイルス1型感染症(IBM)の発生がある。

肉用牛：ヘモフィルス・ソムナス感染症は年々増加の傾向にありかなりの被害である。サルモネラ症(S. naestved)は東北地方で初発生。牛白血病は7頭と昨年より2頭増加している。

豚：8月に豚コレラの発生があり本県では14年ぶり。届出传染病に指定されたオーエスキーブリュウム病は関東を中心に続発している。本県では、一養豚場の陽性豚が昨年12月末日まで淘汰完了し、現在までのところ県内に陽性豚はない。尚、県外移出入豚に関しては厳しいチェックを要する。

鶏：アキレス腱断裂・関節炎を主徴とするレオウイルス感染症は、ブドウ球菌等各種細菌・トリアルデノウイルス等との関連が深い。

馬：馬では比較的少ないエンテロトキセミア、そしてカビ性流産の発生がある。

その他：昨年12月に県内の2愛鳩家のレース鳩に神経症状を主徴とするニューカッスル病が発生。分離ウイルスはB₁株と強毒株の中間型の株であり鶏への感染についてはまだ不明である。

(仙台家畜保健衛生所・病性鑑定課 中川正裕)

妊産婦の皆さんに牛乳を
あちゃんのために
特別価格でお届けします。
Ca補給

●お申し込みについて

お申し込み頂いた月の翌月1日から2ヶ月間200ml入りを毎日1本通常の家庭配達価格から20円引きでお届けします。

更に、契約期間終了後、6日間(毎日1本)無料でお届けします。

[対象] 妊娠中、または出産後1年以内の方

[お申込み受付] 昭和59年6月1日から

昭和60年2月28日まで

[お申込み方法] 母子健康手帳をご持参の上、お近くの家庭配達をしている牛乳販売店にお申し込み下さい。

※近所に妊産婦の方がおられる場合は、このキャンペーングをお知らせ下さる様、お願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
美と健康は牛乳から
仙台市錦町一丁目6番5号
TEL 022(63)7688

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ② 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1
02202(2)2278~9
山形営業所 山形市小石川四丁目9~24
0236(23)9909・9900
古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28
02293(4)2018~9

WORLD ワールド サンショアン



株式会社 五十嵐商会

仙台市卸町五丁目1番地4
電話(022)96-2525(代表)

宮城県畜産会本年度事業の概要

宮城県畜産会

昭和59年度本会事業については、去る6月20日開催された第29回定時総会において原案通り可決承認されました。

本年度は前年度事業を踏襲することにしていますが、現況の畜産情勢をふまえ量的拡大から生産性の向上等経営体質の強化、畜産物の需給動向に即した計画的な生産・出荷・品質の向上等畜産の展望に即した経営技術の指導に重点を置き事業を推進し、畜産経営の安定的発展に資することといたしておりますので、関係各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

なお、本年度事業の概要は次のとおりです。

1. 畜産経営技術高度診断指導事業

高度の経営技術を基礎とした生産性の高い畜産経営の健全な発展を助長するため、経営診断を下記件数実施する。

事業名 畜種別	個別診断指導事業					畜産技術改良 中核農家群育成事業	共同利用施設等診断事業	新畜産団地特別診断指導事業
	新規	再診断	特別診断	高度技術	計			
酪農	10事例	5事例	1事例	10事例	26事例	5事例	1事例	1事例
肉用牛	10	5		10	25	5		
養豚	10	5		10	25	5		
計	30	15	1	30	76	15	1	1

その他付帯する事業として、指導員研修会、優良畜産経営技術発表会等を実施しますが、診断事業は何れも農家、農協市町村等の要請により実施いたしますので、最寄の家畜保健衛生所経由のうえ本会に申込んで下さい。

2. 一般指導事業

(1) 食肉供給予測調査事業

- イ. 肉豚出荷動向調査
- ロ. 肉豚出荷動向協議会
- ハ. 食肉需給安定推進協議会

(2) 肉用牛生産振興特別推進事業

肉用牛関係団体の組織的連携のもとに指導及び奨励事業を総合的に推進する。

(3) 仙台牛共進会

肉用牛の改良増殖と肥育技術の研鑽を図るため、仙台牛共進会（出品頭数150頭）を開催する。

(4) 養豚需給調整安定対策事業

豚肉の需給安定に資するため、自主的な計画生産を推進する。

その他、講習会、畜産機械器具展示会、畜産機械施設貸付調査指導、畜産経営環境整備調査事業等を実施することとしております。



醍醐味

鈎の「醍醐味」、ゴルフの「醍醐味」、酒の「醍醐味」等等と、文字通り筆舌に尽し難い最高にして、しかも栄養満点、不老長寿の妙薬的存在として古代から高貴の方に愛された醍醐の絶妙の味をこのように表現するのではあろうが、そもそも、この「ダイゴ」の原料は牛乳であり、従って「ダイゴ」は乳製品の一つであることは間違いないようである。ここで学問的に追求するつもりはさらさらないが、かつて古えには天台大師が乳味、酪味、生蘇味、熟蘇味、醍醐味の五味をもって仏典の浅深、高低を立てわけた。そしてこの「ダイゴ」を最高尊極の教えに譬えた。なにしろヤンゴトなき高貴の人も、稀にしかお目にかかる「ダイゴ」ではあるが、これを現代にあてはめるならばバター・チーズの類であり、そうであれば、これらの親戚は町中にハンランしている。しかし「ダイゴ味」の本家本元である乳製品の中からホントの「ダイゴ味」とはこれなんだというものをきいたことがない。

牛乳ならお手のもの——乳製品ならこちら——といわれる世の乳業人、酪農人、畜産人と名乗る方々よ！「ダイゴ味」を味わってくれませんか。この世に息のあるうちに。

健康のためなら死んでもいい。というジョークが飛

TCM東洋アタッカーロード



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社

東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5511~5517

“加美グリーンで豊かな土づくり”を

(製品届出番号-宮城県第731号)

名 称 加美グリーン

成分内容 本品は鶏糞等を高温発酵させたもので、どの作物に使用されても害はありません。この施用により土壤pH 8.6が保たれますので土壤改良資材として最適です。(水分30% N 2.60% - P 6.18% - K 3.19%)

小売単価 1袋15kg 320円(バラ売り可)

製 造 加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切付70)(TEL 02296(5)-4336)

び出す程の、食あたりをするような健康食品ブームがオーバーヒートしている昨今の生命尊重は結構なのではありますが、極く手近かにある天恵の最高の食品といわれる牛乳が清涼飲料などの下敷きにされてヒーヒーとか、「ダイゴ」にも比すべき乳製品が、やっとこの頃なじみがふえてきた程度。なんとも、さびしいことではあるが、望みを捨てずに長生きしてガンバロー。

(牛太郎)

畜産物市況の展望

牛肉 全国的には潤沢な出廻りが予想される。一方需要は夏の焼肉シーズンを迎えること。ボーナス支給がほぼ終了した事などから市況は好転し、小幅ながら中旬以降上げとなろう。和牛(去)上物2,150円、中物1,830円、乳牛(去)中物1,330円中心の動きか。

豚肉 農水省予測による8月の全国肉豚出荷頭数は、1,593千頭(前年同月比101%)とほぼ前年並みである。消費は、本格的な夏場需要に向うことなどから好転するものの中旬以降小幅ながら下げ方向と思われる。8月平均上物基準で700円中心の動きか。

食鳥 8月の出荷は、羽数ベースで5,982万羽(前年同月比108%)と予想される。消費は牛、豚肉同様需要期を迎えるので消費増が期待できる。上旬から中旬にかけて堅調な価格推移と思われる。と体大型285~290円、正肉635~640円の動きか。

鶏卵 夏場の産み疲れにより出廻りも少な目になろう。お盆の帰省等から地方需要が期待でき、ゆるやかな消費回復となろう。M基準265円中心の動きか。

飼料 配合飼料7~12月の価格は、主原料の作付増、大豆粕価格の安定相場などからトントン当り3,200円の値下げを実施したが、新穀の生育状況、外国為替の円安傾向などの不安材料もあり予断を許さない状況にある。

なお、配合飼料価格安定基金の補填は4~6月トントン当り3,200円実施されていたが7月以降打切りとなる。

(宮城県経済連 食肉養鶏課 舟山)
飼料課 石井)

!!「肉用牛研究会」仙台で開催!!

肉用牛の生産振興と肉用牛経営の安定合理化並びに生産技術の向上と普及を図るため、今般本県において肉用牛研究会(代表者・京都大学・川島良治氏)が下記により開催されますのでご案内申し上げます。

記

1. 開催期日 昭和59年8月29日(水)
2. 開催場所 仙台市上杉一丁目 宮城県農協ビル

3. 内容

- (1) 記念講演 AM 9:30 ~ AM 11:00

日本の牛肉生産と世界の牛肉生産

農林水産省 菱沼毅氏

- (2) シンポジウム AM 11:00 ~ PM 15:00

1) 経営をどう進めればよいか

麻布大学 栗原幸一氏

2) 生産の技術をどうすべきか

京都大学 並河澄氏

3) 流通・消費の課題は何か

日本大学 宮崎宏氏

畜産物市況

種目	規格	単価	価格	摘要	要
牛	和牛メス 上	枝肉1kg	2,257	仙台市場 6月平均	
	"ヌキ 上	"	2,247	"	
	" 中	"	1,679	"	
肉	乳牛メス 中	"	1,335	"	
	"ヌキ 中	"	1,279	"	
豚肉	上	"	757	"	
	中	"	721	"	
和牛子牛	1頭	284,559	指定市場規格牛 6月平均		
子豚	"	25,538 28,010	経済連黒川市場 畜連小牛田市場 6月平均		

畜産現場の病気対策には…

殺ウイルス・殺菌消毒薬

家畜伝染病予防法指定消毒薬成分含有製剤

パコマ

〈動物用医薬品〉

広範囲なウイルス・細菌・カビを殺滅する。
飲水消毒・畜(鶏)体噴霧での長期間適用に
適する。

消毒に
人手はいらない!



牛舍牛体自動噴霧消毒装置
パコマロクリスピア-2型

Eisai エーザイ
東京都文京区小石川4